

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第4巻：43-53（1995）

手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告 VI — ヨシ原、水田、畑地、斜面林（1994） —

齊藤安行・大山紀子

キーワード：鳥相、センサス、手賀沼、千葉、ヨシ原、水田、斜面林

はじめに

手賀沼は千葉県北部に位置する湖沼で、古くから水禽類の渡来地として知られている（黒田 1985）。我孫子市鳥の博物館と山階鳥類研究所は、手賀沼とその周辺の鳥類の生息状況を把握するため、共同で調査を実施している。調査では、調査地周辺の環境を①水面、②ヨシ原、③水田・畑地、④斜面林に区分し、各環境区分ごとにセンサスを行っている（齊藤ほか 1992 a, b, 1993, 1994, 平岡ほか 1994）。

本報文では、ヨシ原、水田・畑地、斜面林の三つの環境区分におけるセンサス調査について、前報（齊藤ほか 1994）にひきつづき、1994年の調査結果を報告する。

なお、調査にあたって、敷地内の立ち入りを快く許可して下さった株式会社日立総合経営研究所および同施設の関係者の方々に深く感謝いたします。

調査地と方法

手賀沼は北部と南部の二つの沼からなり、それぞれ本手賀沼、南部手賀沼と呼ばれているが、調査は本手賀沼周辺（以下「手賀沼」と呼ぶ）で行った。

手賀沼は、開放水面の面積が約360haの水域で、周囲は堤防で囲まれている。水面と堤防の間には、ヨシ、マコモ、ヒメガマなどの抽水植物群落が生育し、いわゆるヨシ原となっている。堤防の周囲には水田・畑地が広がり、その背後は高度差10mほどの斜面で、アカマツと常緑広葉樹の二次林でおおわれている。これらの環境を①ヨシ原、②水田・畑地、③斜面林に分け、各環境区分の中にそれぞれセンサスルートを設け、各ルートにつき月1回の割合で調査を行った（図1、付表）。

調査者は、センサスルートに沿って歩きながら、観察範囲内に出現した鳥類の種名と個体数を記録した。観察には、双眼鏡（8倍）と地上望遠鏡（30倍）を用いた。調査日時、天候は付表に示したとおりである。

各調査地の概況、センサスルートの詳細については、我孫子市鳥の博物館調査研究報告第2巻（齊藤他 1993）に記したとおりである。なお、各調査地のセンサス調査範囲の面積は、ヨシ原が14ha、水田・畑地が44ha、斜面林が6haである。

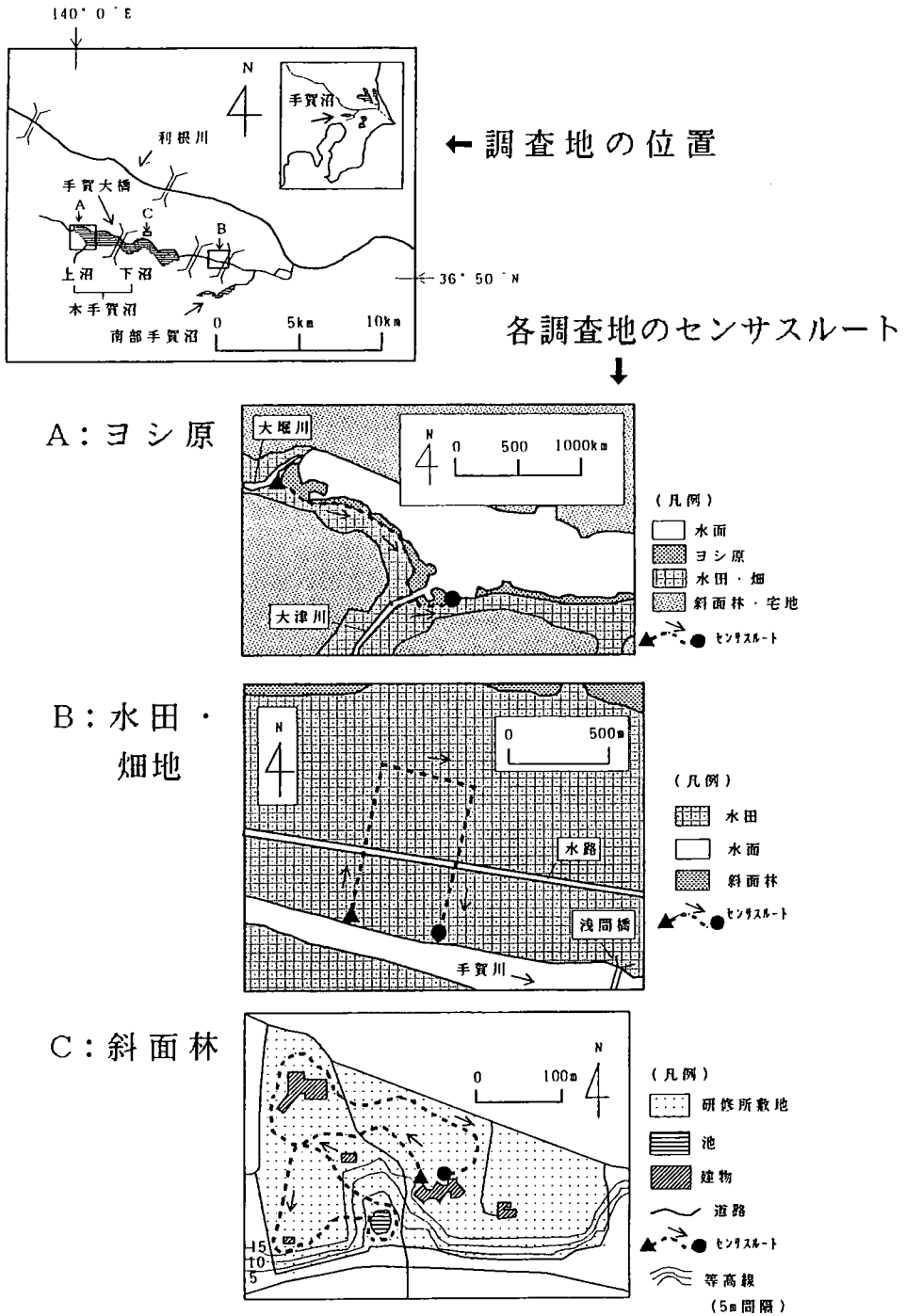


図1 調査地とセンサルート

調査結果

1 ヨシ原

ヨシ原では、7目18科27種の鳥類が出現した(表1)。

月別の出現種数は、最大11種(11月)、最少6種(1月、9月、10月)であった(図2)。月別の出現個体数は、最大121羽(12月)、最少21羽(4月)であった(図3)。

年間の累積個体数を比べると、多い順にスズメ(208羽)、オオヨシキリ(85羽)、カワラヒワ(68羽)、ホオジロ(47羽)、ツバメ(46羽)、オオジュリン(42羽)、ムクドリ(27羽)、カルガモ(20羽)、キジバト(15羽)、オオバン(11羽)と続く(表2)。

また、春(3, 4, 5月)、夏(6, 7, 8月)、秋(9, 10, 11月)、冬(1, 2, 12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると(図4)、春期はオオヨシキリ、アオジ、ムクドリ、スズメ、ヒバリ、夏期はオオヨシキリ、ツバメ、スズメ、カワラヒワ、ムクドリ、秋期はスズメ、カワラヒワ、ホオジロ、キジバト、オオジュリン、冬期はスズメ、ホオジロ、カワラヒワ、オオジュリン、カルガモであった。全季節を通じて、スズメは上位5種に入り、秋期と冬期には最優占種となっていた。また春期と夏期には、オオヨシキリが最優占種となっていた。

1. 2 水田・畑地

水田・畑地では、8目19科38種の鳥類が出現した(表3)。

月別の出現種数は、最大14種(9月)、最少5種(11月)であった(図5)。月別の出現個体数は、最大225羽(1月)、最少41羽(7月)であった(図6)。

年間の累積個体数を比べると、多い順に、ヒバリ(334羽)、タヒバリ(106羽)、スズメ(93羽)、ツグミ(81羽)、ハシボソガラス(79羽)、ムナグロ(75羽)、カワラヒワ(59羽)、ツバメ(37羽)、セッカ(30羽)、アマサギ(30羽)と続く(表4)。

また、春(3, 4, 5月)、夏(6, 7, 8月)、秋(9, 10, 11月)、冬(1, 2, 12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると(図7)、春期はムナグロ、ヒバリ、ツグミ、キョウジョシギ、ムクドリ、夏期はヒバリ、セッカ、ツバメ、チュウサギ、アマサギ、秋期はヒバリ、ハシボソガラス、タヒバリ、ムナグロ、アマサギ、冬期はヒバリ、スズメ、タヒバリ、カワラヒワ、ツグミであった。全季節を通じて、ヒバリは上位5種に入り、ムナグロが最優占種となった春期を除けば、他の時期は全て最優占種であった。

1. 3 斜面林

斜面林では、5目16科29種の鳥類が出現した(表5)。

月別の出現種数は、最大23種(3月)、最少9種(8, 9月)であった(図8)。月別の出現個体数は、最大106羽(1月)、最少29羽(9月)であった(図9)。

年間の累積個体数を比べると、多い順に、ヒヨドリ(166羽)、メジロ(84羽)、スズメ(82羽)、カワラヒワ(78羽)、アオジ(59羽)、キジバト(36羽)、ムクドリ(35羽)、シジュウカラ(31羽)、ヒンズイ(17羽)、オナガ(15羽)と続く(表6)。

また、春(3, 4, 5月)、夏(6, 7, 8月)、秋(9, 10, 11月)、冬(1, 2, 12月)の季節別に個体数の優占割合上位5種を比べると(図10)、春期はヒヨドリ、スズメ、カワラヒワ、アオジ、ヒンズイ、夏期はスズメ、ヒヨドリ、メジロ、カワラヒワ、ムクドリ、秋期はヒヨドリ、メジロ、キジバト、カワラヒワ、シジュウカラ、冬期はアオジ、ヒヨドリ、メジロ、カワラヒワ、ムクドリであった。全季節を通じて、ヒヨドリは上位5種

に入り、春期と秋期は最優占種であった。また、夏期にはスズメが、冬期にはアオジが最優占種となっていた。

表1 ヨシ原のセンサス結果 (1994年)

種名	月/日												計
	01/20	02/17	03/17	04/21	05/19	06/14	07/13	08/25	09/21	10/19	11/16	12/15	
ヨシノイ						2	2						4
カガモ		10						9	1				20
コガモ											1		1
チュウビ											1		1
キジ						1		1			1		3
バン				1				2		2			5
オハシ				2	1		1	3	1		3		11
カラハト(トハト)			5				2						7
キジハト		1	1					5	2	2	3	1	15
ヒバリ			4		1	1				1			7
ツバメ				4	1	6	13	17	5				46
ハクセキレイ			3								2		5
セウロキ					1								1
ヒヨトリ										2		1	3
モズ									1			2	3
ツグミ		1	2	3								3	9
ウグイス											1	4	5
オヨシキリ				2	16	39	24	4					85
セッカ				1				1					2
シジユウカラ												1	1
オジロ	13	2									10	22	47
アオジ	1		7	1									9
オジイリン	10	10	4								6	12	42
カラヒリ	3	1		2	1	1	2	10		14	2	32	68
スズメ	2	10		5	1	4	2	18	18	67	38	43	208
ムクドリ	4	4	6			13							27
ハシロガラス					1								1
オジロ科sp.		6									3		9
個体数合計	33	45	32	21	23	67	46	70	28	88	71	121	645
種数	6	8	8	9	8	8	7	10	6	6	11	10	27

注. 種数は不明種を除いた数

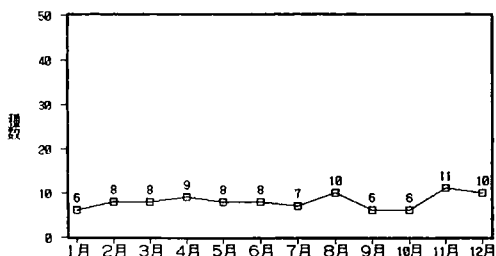


図2 種数の月変化 (ヨシ原)

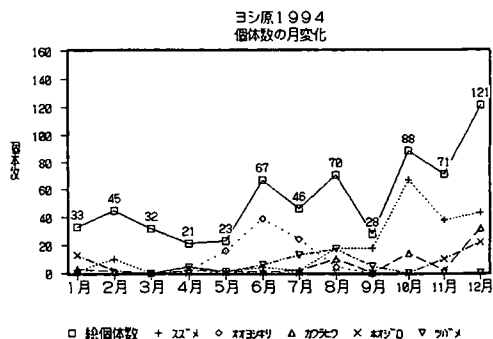


図3 個体数の月変化 (ヨシ原)

表2 累積個体数の順位 (ヨシ原)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	スズメ	208	16	ハシ	5
2	オヨシキリ	85	17	ハクセキレイ	5
3	カラヅク	68	18	ウグイス	5
4	ホシ	47	19	ヨシゴイ	4
5	ツバメ	46	20	キジ	3
6	オシ	42	21	モズ	3
7	ムクドリ	27	22	ヒヨドリ	3
8	カルカモ	20	23	ヒツカ	2
9	キン	15	24	コガモ	1
10	オハシ	11	25	チュウヒ	1
11	ツグミ	9	26	ハシホノヲカラス	1
12	アオジ	9	27	ジジ	1
13	ホシ科sp.	9	28	ヒク	1
14	ヒバリ	7		計	645
15	カラハト(ト)	7			

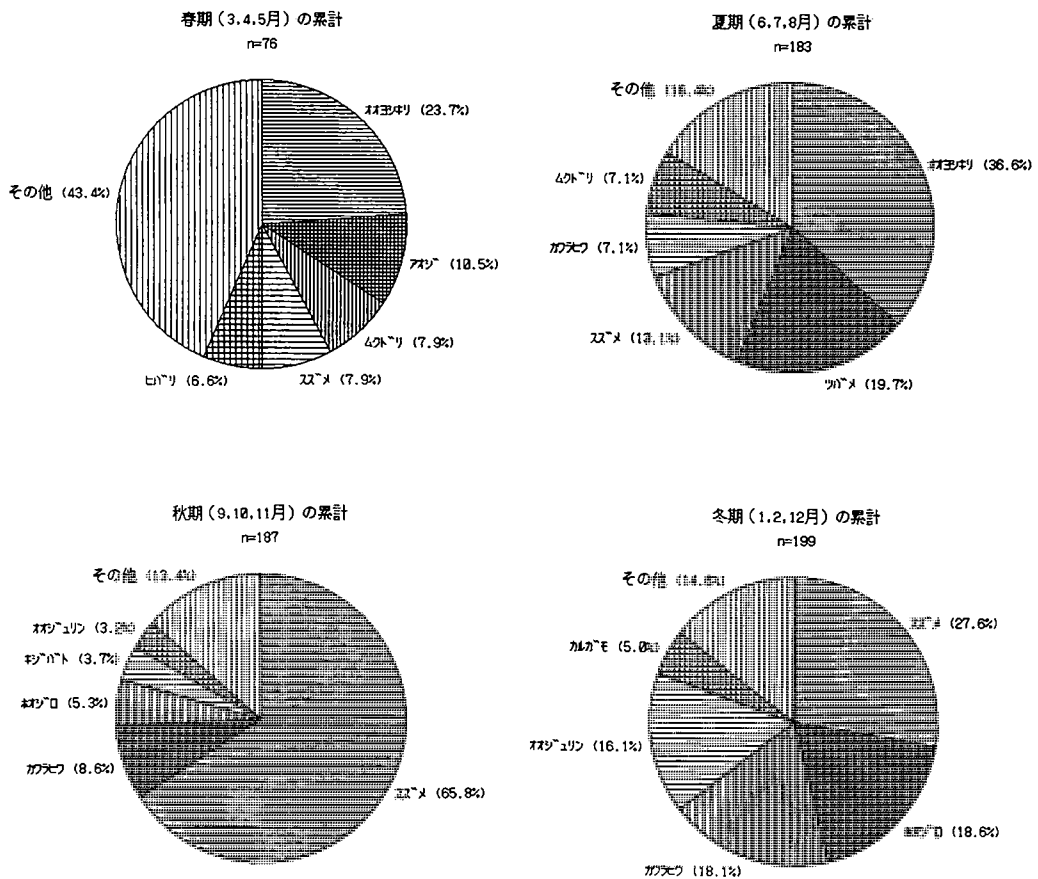


図4 各季節の優占種 (ヨシ原)

表3 水田・畑地のセンサス結果(1994年)

種名	月/日												計
	01/20	02/17	03/17	04/21	05/19	06/17	07/13	08/25	09/21	10/19	11/16	12/15	
カイヅブリ								1		1			2
コイサキ									1				1
アマサキ						15		9	6				30
タノイサキ					1	1					2		4
チウサキ					1	19	4	1	2	2			29
コサキ		1							1				2
カガモ					3	6							9
バン									1				1
コトノリ					1								1
ムナグロ				66	3						6		75
タケノコ		4								1		1	6
キョウソク				1	10								11
キアジキ					3								3
カラハト(トノハト)							1						1
キジハト									1				1
カワヒメ									1				1
ヒバリ	63	60	31	8	18	15	9	18	9	35	31	37	334
ツバメ				4	4		10	18	1				37
ハクビレイ									3	3		5	11
クビナ	33	24	8	2						1	20	18	106
モズ									1				1
ツクミ	13	16	19	18								15	81
オオヨシキリ					1	8	5						14
ヒツカ	1					5	9	14	1				30
ホオジロ	2		2										4
カンラタカ		10		2									12
オオジエリン	4	9											13
カラヒタ	10	15		2							3	29	59
スズメ	75	12					1	5					93
ムクドリ		5	3	3	4			9	1				25
ヒノトカラス	22	13	1	3	1	1	2	1	32	1	2		79
ヒメトカラス	2			1									3
個体数合計	225	169	64	110	50	70	41	76	61	50	58	105	1079
種数	10	11	6	11	12	8	8	9	14	8	5	6	32

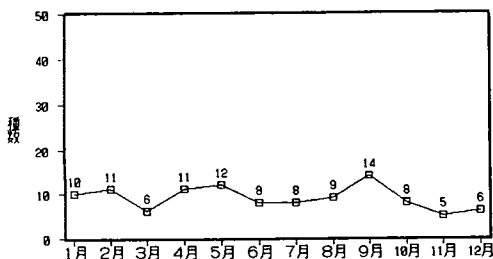


図5 種数の月変化(水田・畑地)

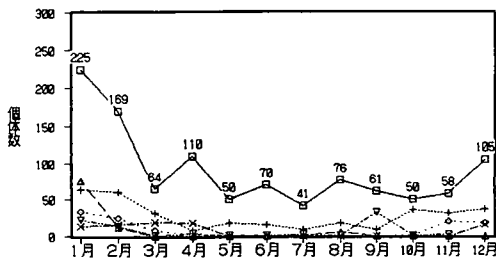


図6 個体数の月変化(水田・畑地)

□ 総個体数 + ヒバリ ○ クビナ △ スズメ × ツクミ ▽ ヒノトカラス

表4 累積個体数の順位 (水田・畑地)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	ヒバリ	334	21	ホオジロ	4
2	タヒバリ	106	22	キジシキ	3
3	スズメ	93	23	ハジツトガラス	3
4	ツグミ	81	24	コサキ	2
5	ハシボトガラス	79	25	カイツブリ	2
6	ムクドリ	75	26	カサシ	1
7	カラヒタ	59	27	コイサキ	1
8	ツバメ	37	28	モズ	1
9	セッカ	30	29	キジハト	1
10	アマサキ	30	30	バン	1
11	フェウサキ	29	31	コトドリ	1
12	ムクドリ	25	32	カラハト(トハト)	1
13	オオヨシキリ	14		計	1079
14	オオシエリン	13			
15	カシラガカ	12			
16	ハクセキレイ	11			
17	キョウジヨシキ	11			
18	カルカモ	9			
19	タケリ	6			
20	ダイサキ	4			

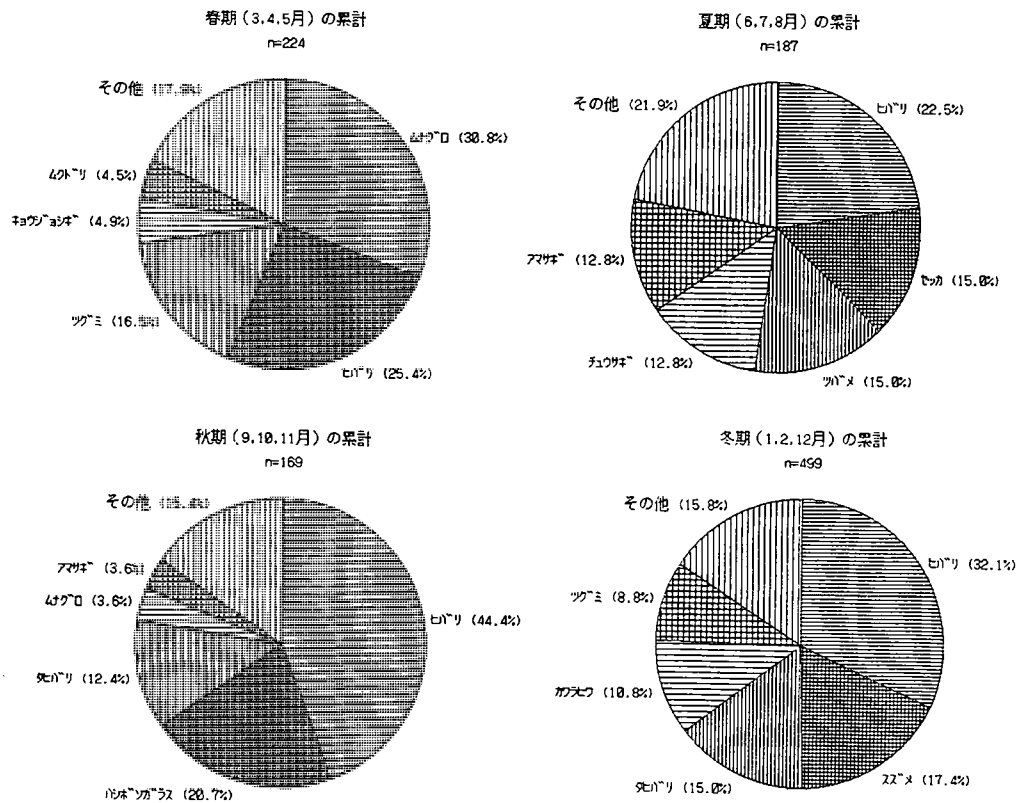


図7 各季節の優占種 (水田・畑地)

表5 斜面林のセンサス結果 (1994年)

種名	月/日												計
	01/20	02/17	03/17	04/21	05/19	06/17	07/13	08/25	09/21	10/19	11/16	12/15	
ゴイサキ								1					1
コガモ	2		2								2		6
コジユケイ			2	1		2	1	2		2			10
キジ		1	2	1					1				5
キジバト	2	2	1	4	2	1	5	3	1	6	4	5	36
コケラ	2	1	1	1	2	1	1			3	1		13
ツルメ					1	1							2
キキレイ									1				1
ハクセキレイ				1			1		1	2	2		7
ヒンズイ	1	4	6	5								1	17
ヒヨドリ	14	7	13	15	4	15	10	12	7	30	24	15	166
モズ										1	1		2
ミソサザイ			1										1
ルビキ	1	5	2										8
シロハラ	3		2	2							5	3	15
ツグミ	1	1	2								1	2	7
ウグイス	2	1	3								2		8
ヒガラ											1	3	4
ヤマガラ											2		2
シジユカガ	2	3	3	2	2	2	2	3	2	3	2	5	31
メジロ	19	6	1	2		4	9	6	12	9	5	11	84
ホシジロ	1	1	1	2	2	4				1	1	1	14
カシラダカ												1	1
アオジ	16	9	12	3							7	12	59
クロジ	2		3										5
カワラヒワ	14	13	16	7	1	4	5	4		4	5	5	78
シメ	3		1								2	2	8
スズメ		5	2	7	20	15	13	10	2	1	4	3	82
ムクドリ	13			3	7		9				3		35
カラス											1		1
オカ	7	5	3										15
ハシホトギス			1					1			1		3
ハシブトギス	1	1	1	2	1	3			2	1		2	14
ツグミ亜科SP.		1											1
個体数合計	106	66	81	58	42	52	56	42	29	67	72	71	742
種数	19	16	23	16	10	11	10	9	9	14	19	15	33

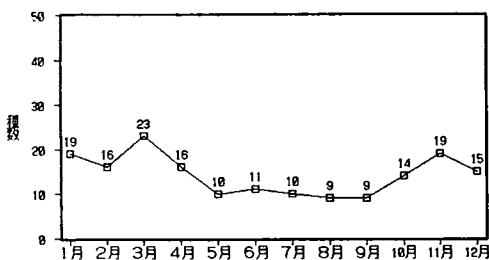


図8 種数の月変化 (斜面林)

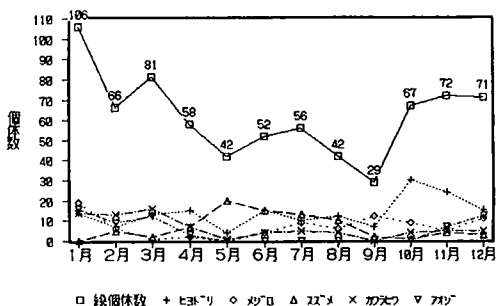


図9 個体数の月変化 (斜面林)

表6 累積個体数の順位 (斜面林)

順位	種名	個体数	順位	種名	個体数
1	ヒヨドリ	166	21	コガモ	6
2	メジロ	84	22	キジ	5
3	スズメ	82	23	クロジ	5
4	カワラヒラ	78	24	ヒガラ	4
5	アオジ	59	25	ハシホリガラ	3
6	キジハト	36	26	ツルメ	2
7	ムクドリ	35	27	モズ	2
8	シジュウカラ	31	28	ヤマガラ	2
9	ヒメスズメ	17	29	カス	1
10	オカ	15	30	ミソサザイ	1
11	シロハラ	15	31	キキレイ	1
12	ハシブトガラ	14	32	カワラガ	1
13	ホオジロ	14	33	ゴイサキ	1
14	コゲラ	13	34	ツグミ亜科SP.	1
15	コジユケイ	10	計	742	
16	ルビビキ	8			
17	ウグイス	8			
18	シメ	8			
19	ツグミ	7			
20	ハクセキレイ	7			

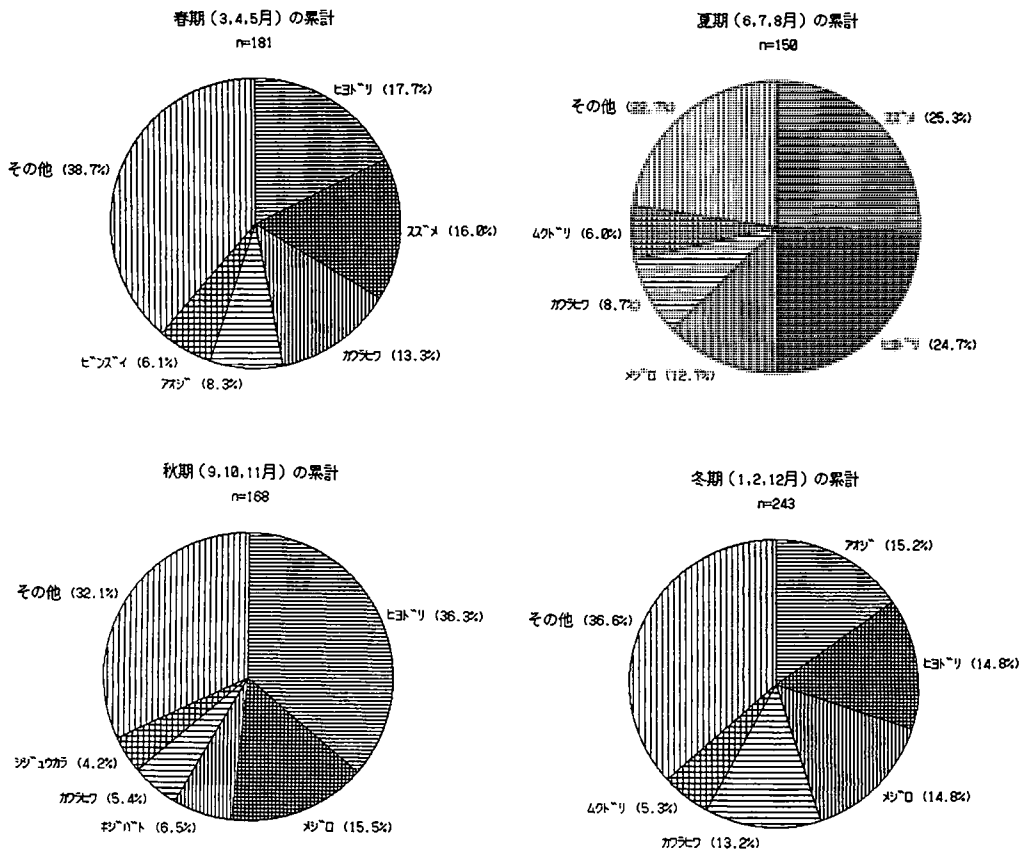


図10 各季節の優占種 (斜面林)

引用文献

- 黒田長久. 1985. 水鳥の里, 手賀沼-我孫子移転にあたって-. 山階鳥類研究所研究報告 17(72):3-8.
- 斉藤安行・百瀬邦和・平岡考・鶴見みや古・大山紀子. 1992 a. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅰ-ヨシ原、水田・畑地、斜面林(1988-1991)-. 我孫子市鳥の博物館 調査研究報告 1:43-59.
- 斉藤安行・平岡考・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1992 b. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅱ-水面(1988-1990)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告1:61-73.
- 斉藤安行・大山紀子. 1993. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅲ-ヨシ原、水田、畑地、斜面林(1992)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告2:25-34.
- 斉藤安行・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅳ-ヨシ原、水田、畑地、斜面林(1993)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:71-79.
- 平岡考・斉藤安行・百瀬邦和・鶴見みや古・大山紀子. 1994. 手賀沼とその周辺の鳥類センサス結果報告Ⅴ-水面(1991-1993)-. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:81-89.
- 追記: 引用文献、斉藤ほか1994 我孫子市鳥の博物館調査研究報告3:25-34. の29ページ表2の、12月9日オオヨシキリ3羽出現は誤記でした。訂正いたします。

Bird census report of the Lake Teganuma and the periferai area. VI.
-Reed bed, Farmland, Woodland (1994)-

Yasuyuki Saito, Noriko Ohyama

KEY WORDS : Avifauna, Census, Teganuma, Chiba, Reed bed, Farmland, Woodland

Abiko City Museum of Birds. Kohnoyama 234-3, Chiba, 270-11, Japan

付表 調査日時と天候

調査日	天候	調査地					
		斜面林		ヨシ原		水田・畑	
月/日		開始	終了	開始	終了	開始	終了
01/20	晴れ	08:40	09:32	08:28	09:45	09:45	10:17
02/17	晴れ	08:50	09:40	08:39	09:33	10:05	10:30
03/17	晴れ	08:50	09:50	08:35	09:24	09:57	10:29
04/21	晴れ	08:45	09:30	08:28	09:24	09:42	10:11
05/19	晴れ	08:35	09:07	08:19	09:03	09:30	10:05
06/17	晴れ	08:40	09:20	08:30	09:23	09:34	10:10
07/13	晴れ	08:45	09:17	08:28	09:12	09:35	09:53
08/25	晴れ	08:14	08:50	10:26	11:25	08:28	09:27
09/21	曇り	08:45	09:12	08:33	09:12	09:35	10:00
10/19	晴れ	08:46	09:30	08:33	09:27	09:48	10:09
11/16	晴れ	08:45	09:50	08:30	09:48	10:06	10:25
12/15	晴れ	08:38	09:30	08:26	10:00	09:45	10:21